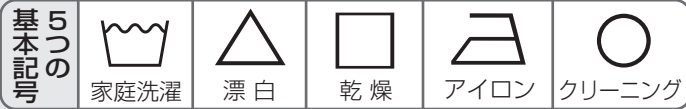


衣類の「取扱い表示」が変わります

(2016年12月～)

新しい「取扱い表示」のポイント



- 「基本記号」と「付加記号」や「数字」の組み合わせで構成される。
- 記号の種類が22種類から41種類に増え、より細かな表示に変わる。
- 参考情報が簡単な用語で付記される場合がある。
- 表示は、取扱い方の上限を表す。

付加記号と数字

【強さ】基本記号の下に付加

- 線なし 通常の強さ
- 弱い
- == 非常に弱い

「線(—)」が増えるほど作用は弱くなる。

【温度】基本記号の中に付加



タンブル乾燥やアイロン温度は「点(●)」で表す。数が増えるほど温度は高くなる。

数字は、家庭洗濯での洗濯液の上限温度。

【禁止】



基本記号と組み合わせると、禁止を表す。






































取扱い表示 対比表[※] (現行表示 / 新表示(2016年12月改訂))

※ 概ね対比するものを表しています。

現行表示	新表示 (2016年12月～)	備考 (洗濯機での扱い等)
洗い方	洗濯の記号	
液温は95℃を限度とし、洗濯ができる。	液温は95℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社洗濯機では、50℃以上のお湯をご使用頂かないよう、ご案内しております。 ● 新表示「下線1本(—)」の強さは、洗濯機の「標準コース」に相当します。 例 ● 新表示、「下線2本(==)」の強さは、洗濯機の弱水流(例「おしゃれ着コース」など)に相当します。 例 ● 洗濯機で洗えません。手洗いしてください。 ● 水洗いはできません。
—	液温は70℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。	
液温は60℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる。	液温は60℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。	
—	液温は60℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。	
—	液温は50℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。	
—	液温は50℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。	
液温は40℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる。	液温は40℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。	
—	液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。	
—	液温は30℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。	
—	液温は30℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。	
液温は40℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗い(振り洗い、押し洗い及びつかみ洗いがある)がよい。	液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる。	
液温は30℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗い(振り洗い、押し洗い及びつかみ洗いがある)がよい。	液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる。	
液温は30℃を限度とし、弱い手洗い(振り洗い、押し洗い及びつかみ洗いがある)がよい。(洗濯機は使用できない)	液温は40℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。	
水洗いはできない。	洗濯処理はできない。	
塩素漂白の可否	漂白の記号	
塩素系漂白剤による漂白ができる。	塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。	● 塩素系漂白剤は、色落ち、変色の恐れがあります。
塩素系漂白剤による漂白はできない。	酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。	
	漂白処理はできない。	
絞り方	—	
手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は、短時間で絞るのがよい。	—	● 新表示では「自然乾燥の記号(裏面)」に絞りがたも併せて表示しています。
絞ってはいけません。		

取扱い表示 対比表[※] (現行表示 / 新表示(2016年12月改訂))

※ 概ね対比するものを表しています。

現行表示	新表示 (2016年12月~)	備考 (洗濯機での扱い等)	
—	タンブル乾燥の記号		
—	 洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。 高温乾燥：排気温度の上限は最高80℃	● 当社の洗濯乾燥機では「標準コース」が相当します。	
—	 洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。 低温乾燥：排気温度の上限は最高60℃	● 当社の洗濯乾燥機では「毛布コース」「ホームクリーニング(おしゃれ着)コース」が相当します。	
—	 洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。	● 現行表示に記号はありませんが「タンブラー乾燥はお避けください」の注意文がある場合、相当します。	
干し方	自然乾燥の記号		
 つり干しがよい。 (絞 絞ってはいけない。)	 つり干し乾燥がよい。  ぬれつり干し乾燥がよい。	● 「線1本(— または)」は脱水後に、「線2本(= または)」は濡れたままで(脱水や手絞りをせず)、干します。 ● 「斜め線(/)」は陰干しを表します。	
 日陰のつり干しがよい。 (絞 絞ってはいけない。)	 日陰でのつり干し乾燥がよい。  日陰でのぬれつり干し乾燥がよい。		
 平干しがよい。 (絞 絞ってはいけない。)	 平干し乾燥がよい。  ぬれ平干し乾燥がよい。		
 日陰の平干しがよい。 (絞 絞ってはいけない。)	 日陰での平干し乾燥がよい。  日陰でのぬれ平干し乾燥がよい。		
アイロンの掛け方	アイロン仕上げの記号		
 アイロンは210℃を限度とし、高い温度(180~210℃まで)で掛けるのがよい。	 底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。		● 現行表示の「当て布(〜 例 )」は、新表示に相当するものはありません。「あて布使用」などの付記用語で表します。 例  あて布使用
 アイロンは160℃を限度とし、中程度の温度(140~160℃まで)で掛けるのがよい。	 底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。		
 アイロンは120℃を限度とし、低い温度(80~120℃まで)で掛けるのがよい。	 底面温度110℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。		
 アイロン掛けはできない。	 アイロン仕上げ処理はできない。		
ドライクリーニング	ドライクリーニング処理の記号		
 ドライクリーニングできる。 溶剤はパークロロエチレン又は石油系のものを使用する。	 パークロロエチレンおよび記号(F)の欄に規定の溶剤でドライクリーニング処理ができる。 通常の処理  パークロロエチレンおよび記号(F)の欄に規定の溶剤でドライクリーニング処理ができる。 弱い処理	● クリーニング店で、ドライクリーニングをおこなってください。	
 ドライクリーニングできる。 溶剤は石油系のものを使用する。	 石油系溶剤(蒸留温度150~210℃、引火点38℃~)でのドライクリーニング処理ができる。 通常の処理  石油系溶剤(蒸留温度150~210℃、引火点38℃~)でのドライクリーニング処理ができる。 弱い処理		
 ドライクリーニングはできない。	 ドライクリーニング処理ができない。		
—	ウエットクリーニング処理の記号		
—	 ウエットクリーニング処理ができる。 通常の処理  ウエットクリーニング処理ができる。 弱い処理  ウエットクリーニング処理ができる。 非常に弱い処理  ウエットクリーニング処理はできない。	● クリーニング店で、ウエットクリーニングをおこなってください。	